

# 再貸付による競争下のグループ貸付

松田 慎一

## <要旨>

本論では Quidt, Fetzner and Ghatak(2018a)モデルを整理し、非営利と営利の下で個人貸付と連帯保証の貸付契約において社会関係資本の役割を、定性的に議論する。マイクロファイナンス市場の競争が高まると同時に、連帯保証貸付から個人貸付への変更が増えており、再度、なぜグループ貸付が機能するのかしないのか、競争の中で社会関係資本の貸付に対する内生性について考察する。ASA では、1 期の貸付の末、債務不履行になった借手手を所得水準の最も低いグループに組み入れ、再度の貸付を行っていた例があった。本論では、この QFG モデルに基づいて前述の再貸付を新たに仮定した場合、グループ貸付に与える効果の議論を行った。議論の結果、再貸付の確率により、社会関係資本と金利の関係が変化し、再貸付を仮定すると返済のインセンティブに影響を与える可能性があることが示された。

(新島学園短期大学)